



まちの話題をお届けします

市ホームページの「旬感」まちのニュース」では、このコーナーに掲載できなかったさまざまな話題を紹介しています。最新のニュースから過去3年分まで、写真とともに閲覧できます。ぜひご覧ください。



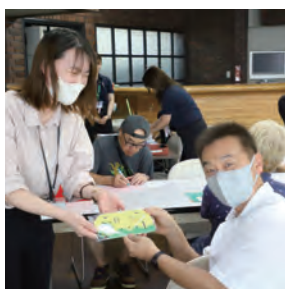
7/1 産業振興知事褒賞(優良組合)を受賞

菊川中央工業団地協同組合が、受賞報告のため市長を表敬訪問しました。同組合は、令和5年に創立40周年を迎え、団地組合における企業集積のメリットを活かした取り組みが評価されました。



7/1 ご当地標識(原付ナンバープレート)抽選会

ご当地標識は「きくのん」と茶畑をイメージしたデザイン。各車種1〜20番までのナンバープレートは、交付希望者を事前に募り、抽選会を実施し、交付するナンバープレートを決定しました。



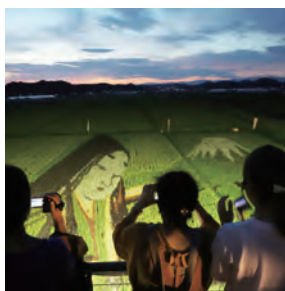
7/13 ひらかわ会館夏休み企画「こども昆虫展」

カブトムシなどの生き物を間近に観察できる昆虫展が開催されました。高さ2m、長さ6mほどの特設小屋が設置され、子どもたちは放し飼いにされたおよそ100匹のカブトムシと自由に触れ合いました。



7/20・21 田んぼアート菊川ライトアップ鑑賞会

田んぼアート会場でライトアップ鑑賞会が行われました。あたりが薄暗くなると、やぐらから照明が当てられ、色づいた稲穂のアートが水田に浮かび上がり幻想的な雰囲気につつまれました。



7/25 熊切裕さん100歳おめでとうございます

熊切裕さん(新道)が100歳の誕生日を迎え、自宅で家族が見守る中、市職員から花束と記念品が贈られました。裕さんは、「長寿の秘訣は野菜など好き嫌いなく何でも食べること」と話してくれました。



官 市と民間企業が協定を締結 民が連携して農業DXを推進

7月9日、市は株式会社エムスクエア・ラボと「農業DXによる持続可能なきくがわのまちづくりに関する連携協定」を締結しました。同社が持つ先端技術やノウハウ、各地とのネットワークを活かし、新たな技術の導入や地域農業の発展による「持続可能な地域農業」の確立を目指します。

協定締結後には、地域の農業関係者が参加し、同社が所有する神尾地区のは場でスマート農業の実証体験会を開催しました。同社が開発を進めている「ロボット台車」を参加者が操作するなど、農作業の自動化に向けた体験を行いました。



1 協定書にサイン 2 ロボット台車を操作する参加者

日 外国籍の子どもが流しソーメンを体験 本の夏の風物詩を体験

7月12日、平川コミュニティ防災センターで外国籍の子どもが日本の夏の風物詩「流しソーメン」を体験しました。市内に住む外国籍の子どもに、日本人との交流を身近に感じてもらい、日本の文化を楽しんでもらうことを目的に青少年健全育成平川支部が開催している恒例行事です。同支部のメンバーがソーメンを流すと、子どもたちは上手に箸を使ってすくい、おいしそうに食べていました。雨のためスイカ割りは中止となりましたが、参加した子どもたちは、冷やしておいたスイカを食べて日本の夏を楽しみ、同支部のメンバーと交流を深めました。



1 2 日本の伝統的な夏の風物詩を楽しむ子どもたち